



る。即ち, olfactory epithelium proper (OEP), septal olfactory organ of Masera (MO), vomeronasal neuroepithelium (VNO) である。グルタルアルデヒドおよび四酸化オスミウムの固定後にタンニン酸処理を行うと OEP と MO は灰白色となり, それらの位置および面積を容易に計測することが可能となった。MO は個体差性差, 左右差のいずれの点においても統計学的に変異なく一定の面積と位置を示した。このことから MO は単に OEP の呼吸部への迷入したものではないと考えられる。MO と OEP の微細形態を光顕, 走査電顕, および透過電顕 (超薄切片法およびレプリカ法) により比較検討した。微細構造において MO と OEP は類似していたが, MO では Brush cell と思われる細胞が高頻度に認められた。この細胞と MO の機能との関連は今後の課題である。

英和訳